



盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～

令和 7 年 2 月 19 日

盛岡市 遺跡の学び館

市政記者クラブ加盟社 各位

盛岡市遺跡の学び館第 42 回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘するー令和 6 年度調査速報ー」と関連事業「令和 6 年度調査成果報告会」を開催します

このたび当館では、第 42 回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘するー令和 6 年度調査速報ー」を開催します。本展では、今年度に当館が発掘調査した遺跡について、最新の調査成果と出土資料をいち早く紹介するものです。また、関連事業として「令和 6 年度調査成果報告会」を実施します。

つきましては、周知広報についてよろしくお願いいたします。

記

- 1 名称 第 42 回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘するー令和 6 年度調査速報ー」
- 2 開催期間 令和 7 年 3 月 1 日（土）～令和 7 年 5 月 18 日（日）
※入館料 大人 200 円・小中学生 100 円
- 3 場所 盛岡市遺跡の学び館 企画展示室（本宮字荒屋 13-1 TEL019-635-6600）
- 4 関連事業 令和 6 年度調査成果報告会
発表者：当館職員
日時：令和 7 年 3 月 2 日（日）13：30～16：00
場所：当館研修室
報告遺跡（予定）：大新町遺跡・右京長根遺跡・木節遺跡・国史跡 盛岡城跡
定員：80 名（入館無料）
募集方法：2 月 4 日（火）10：00～電話受付（先着順）

盛岡市遺跡の学び館

〒020-0866 盛岡市本宮字荒屋 13-1

TEL 019-635-6600 FAX 019-635-6605

担当：田老（たろう）・小野寺（おのでら）・
千葉（ちば）

第42回埋蔵文化財調査資料展

盛岡を発掘する

— 令和6年度調査速報 —

会期

令和7年 **3月1日(土)～5月18日(日)**

会場

盛岡市遺跡の学び館 企画展示室

令和6年度調査成果報告会

日時：令和7年 **3月2日(日)** 13:30～16:00

会場：当館研修室（定員80名）、入場無料

報告遺跡：大新町遺跡、右京長根遺跡、

木節遺跡、国史跡 盛岡城跡（予定）

募集方法：2月4日（火）10:00～電話受付（先着順）

【開館時間】9:00～17:00（入館は16:30まで）

【休館日】毎週月曜日（祝祭日にあたる場合は翌平日）、毎月最終火曜日、年末年始

【入館料】一般200円（団体20名以上160円）、小中学生100円（団体20名以上80円）

※小学生未満、市内在住65歳以上、障がい者手帳をお持ちの方と付添の方1名無料

【交通案内】JR東北本線・JR東北新幹線「盛岡駅」から車で5分、徒歩20分

東北自動車道「盛岡IC」・「盛岡南IC」から車で20分

岩手県交通盛南ループ「総合プール前」・「原敬記念館前」・「県立美術館前」バス停下車徒歩10分

【お問合せ】〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1 TEL:019-635-6600 FAX:019-635-6605



押型文土器（大新町遺跡）



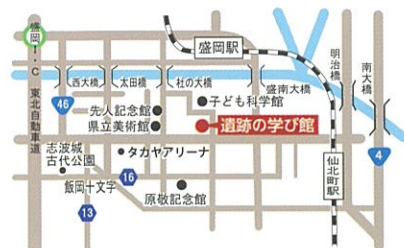
Tピット（右京長根遺跡）



竪穴建物跡（西鹿渡遺跡）



軒丸瓦（国史跡 盛岡城跡）

盛岡市 **遺跡の学び館**

盛岡を発掘する

—令和6年度調査速報—

令和6年度、7遺跡の発掘調査を実施しました。

発掘調査によって明らかになった最新情報をもとに、盛岡の新たな歴史の一面をぜひご覧ください。



遺物包含層



土坑



作業風景



土師器 甕



竪穴建物跡



作業風景

【大新町遺跡】 第90次調査（大新町）

盛岡市北西部、雫石川北岸の台地南縁部に立地する縄文時代早期を主体とする遺跡です。過去の調査では、縄文時代草創期～早期や縄文時代中期、平安時代末期の遺構・遺物が出土しています。

今回の調査では、押型文土器や貝殻文土器などの縄文時代早期の土器片と、敲石などの石器が出土しました。

【県史跡 大館町遺跡】 第91次調査（大館町）

盛岡市北西部、雫石川北岸の台地南縁部に立地する縄文時代中期を主体とする遺跡です。

今回の調査では、縄文時代早期・中期の土坑2基、縄文時代早期の遺物包含層が確認されました。遺物は、縄文時代早期・中期前葉の土器片・石器が出土しました。

【右京長根遺跡】 第5次調査（緑が丘）

北上川東岸の丘陵上に立地します。遺跡を含む周辺の地域は、丘陵から流れる沢の開析により、起伏の多い地形になっています。過去の試掘調査では、縄文時代のTピット（陥し穴状土坑）の存在が確認されていました。

今回の調査地は、縄文時代のTピット12基と土器片、石器が見つかりました。

【西鹿渡遺跡】 第46次調査（三本柳）

北上川西岸の河岸段丘上に位置する古代の集落遺跡です。

今回の調査では、奈良時代（8世紀）の竪穴建物跡が見つかりました。大部分は壊され、地床炉と考えられる遺構が一部残るのみでした。地床炉付近からは、土師器坏、土師器甕などの遺物が出土しました。

【下永林遺跡】 第12次調査（津志田）

雫石川と北上川右岸の沖積段丘上に位置します。昭和10年（1935）、畑の耕作中に蕨手刀が出土したと伝えられ、昔は蝦夷の塚が複数あったと言われています。

今回の調査では、遺構・遺物は確認されませんでした。

【木節遺跡】 第7次調査（上飯岡）

盛岡市南西部の上飯岡地内に所在する遺跡です。遺跡周辺の地域は、古くから須恵器窯跡の存在が指摘されていました。今回の調査では、平安時代の須恵器工房の竪穴建物跡1棟、須恵器窯跡関連と推定される土坑1基などが見つかりました。また、須恵器生産に関連する遺物などが多量に出土しました。

【国史跡 盛岡城跡】 三ノ丸第37次調査・本丸第44次補足・第47次調査（内丸）

盛岡城は、初代盛岡藩主の南部信直と、二代藩主の利直が約40年もの歳月をかけて築き上げた南部氏の居城です。

令和6年度は、本丸地区では史跡整備に伴う発掘調査を実施し、江戸時代の本丸御殿跡の確認などを行いました。三ノ丸地区では、令和5年度に引き続き三ノ丸北西部石垣の積上げ工事の記録を行いました。